

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月15日

広島電鉄株式会社（証券コード：9033）

2023年3月期 連結経営成績

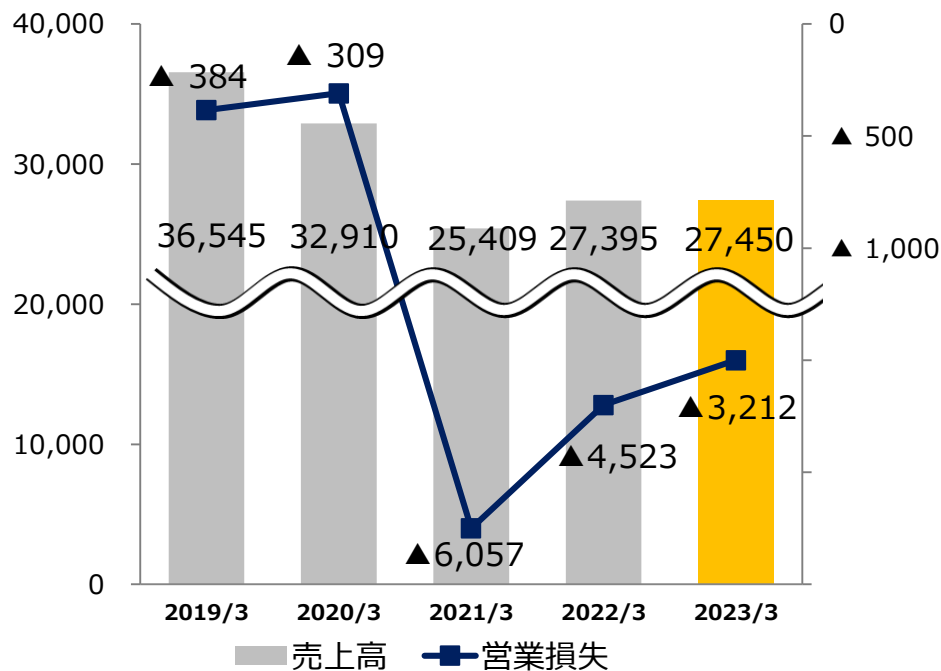
(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	27,395	27,450	+55 (+0.2)	不動産業では前年度の分譲マンションの完売等の反動により大幅減収となるも、運輸業で観光需要を含めた移動需要の回復傾向が続き増収となり、総じて増収 運輸業での増収が寄与し、営業損失、経常損失が縮小
営業利益	△4,523	△ 3,212	+1,311 (-)	
経常利益	△4,447	△ 3,027	+1,420 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,053	943	+1,996 (-)	
1株当たり 当期純利益	△34.70円	31.07円	+65.77円	特別損益は、特別利益に固定資産売却益、退職給付信託設定返還益、退職給付制度改定益を計上

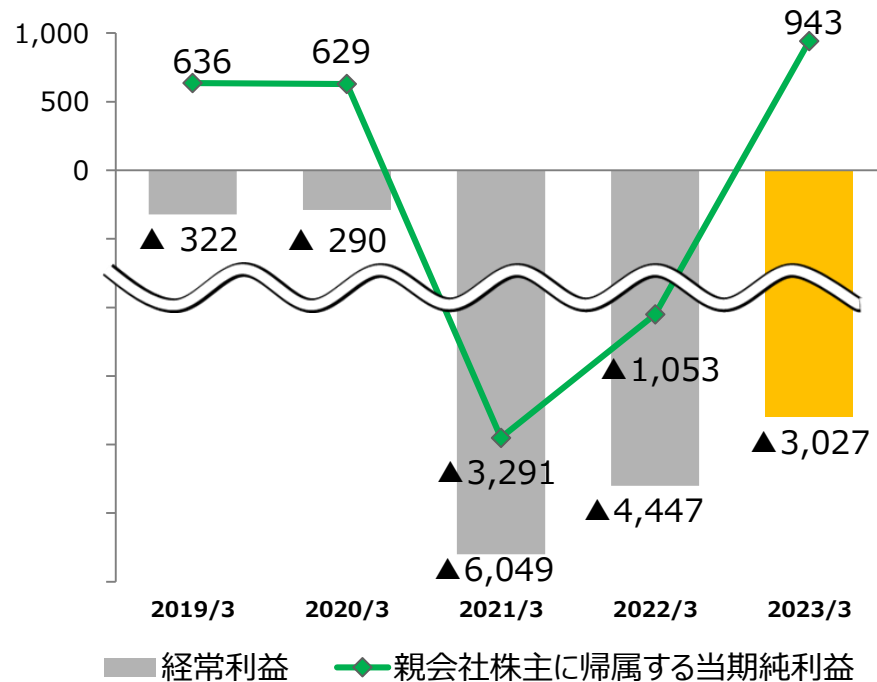
連結業績の推移

(百万円)

売上高・営業利益



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

		2022年 3月期	2023年 3月期	増減	主な増減要因
流	動 資 産	12,938	16,451	+3,512	受取手形、売掛金及び契約資産+2,454 その他+2,093 現金及び預金△837
固	定 資 産	79,565	77,655	△1,909	有形固定資産△2,298 無形固定資産+404
資 産 合 計		92,503	94,106	+1,602	
負	流 動 負 債	23,454	25,723	+2,269	短期借入金+1,650 未払金+2,447 その他△1,854
	固 定 負 債	30,354	29,162	△1,191	長期借入金△589 退職給付にかかる負債△347
	負 債 合 計	53,808	54,886	+1,078	
純	株 主 資 本	13,903	14,990	+1,086	利益剰余金の増加
	その他の包括利益累計額	23,910	23,369	△541	土地再評価差額金の減少
	非支配株主持分	881	860	△20	
純 資 産 合 計		38,695	39,220	+524	
負 債 純 資 産 合 計		92,503	94,106	+1,602	

連結損益計算書 (P/L)

(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減	主な増減要因
営業収益	27,395	27,450	+55	
運輸業等営業費及び売上原価	26,005	24,899	△1,105	
販売費及び一般管理費	5,913	5,762	△151	
営業損失(△)	△4,523	△3,212	+1,311	
営業外収益	345	444	+99	受取配当金+72(主として退職給付信託返還株式)
営業外費用	268	258	△9	
経常損失(△)	△4,447	△3,027	+1,420	
特別利益	3,871	8,138	+4,266	固定資産売却益+620 受取補償金+2,883 退職給付信託返還益+483 退職給付制度改定益+271
特別損失	654	4,010	+3,355	固定資産圧縮損+3,093 固定資産除却損+489
税金等調整前当期純利益	△1,230	1,100	+2,331	
法人税・住民税及び事業税	29	97	+67	
法人税等調整額	△94	76	+170	退職給付信託株式返還に伴う繰延税金負債の計上の影響
当期純利益	△1,166	927	+2,093	
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△112	△16	+96	
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,053	943	+1,996	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,121	449	+1,570	建設業における工事の進捗に伴い完成工事未収金が増加したものの、税金等調整前当期純利益の計上が影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,559	△2,150	+1,409	宮島口整備事業に係る広電宮島口駅移設工事などの設備投資が影響
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,664	894	△3,770	有利子負債の増加を抑制
現金及び現金同等物の増減額	△16	△806	△790	
現金及び現金同等物の期首残高	5,210	5,194	△16	
現金及び現金同等物の期末残高	5,194	4,387	△806	

セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	15,228	17,847	+2,618 (+17.2)	
セグメント利益	△6,422	△ 3,971	+2,450 (-)	鉄軌道事業および自動車事業では新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向がみられ、輸送人員が増加し、前年度と比べ増収となり、損失幅が縮小
運行補助金	2,244	2,137	△107 (△4.7)	海上運送業および索道業では宮島来島者の回復傾向がみられ、大きく落ち込んだ前年度と比べ増収し収支を改善
運行補助金を 含めた損益	△4,177	△ 1,834	+2,343 (-)	



セグメント別経営成績②流通業

(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,241	980	△261 (△21.0)	サービスエリア事業において下松SA店舗から撤退した影響により減収となるも、宮島SA店舗において交通量の増加に伴い売上が回復し、前年度と比べ損失幅が縮小
セグメント利益	△55	△3	+51 (-)	

セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	6,808	3,231	△3,577 (△52.5)	不動産賃貸業において、広島市佐伯区の「ファミリータウン広電楽々園ナイスディ棟」の賃貸契約終了や、広島市中区の「広電三井住友海上ビル」の自社所有分を売却した影響により減収減益
セグメント利益	1,895	537	△1,357 (△71.6)	不動産販売業において、前年に分譲マンション「ザ・府中レジデンス」を全戸販売完了した反動により大幅な減収減益

セグメント別経営成績④建設業

(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	5,439	5,890	+451 (+8.3)	広島市大塚中央土地区画整理事業の工事の進行により増収となったものの、建設資材価格の高騰による影響を受け減益
セグメント利益	203	181	△21 (△10.6)	

セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

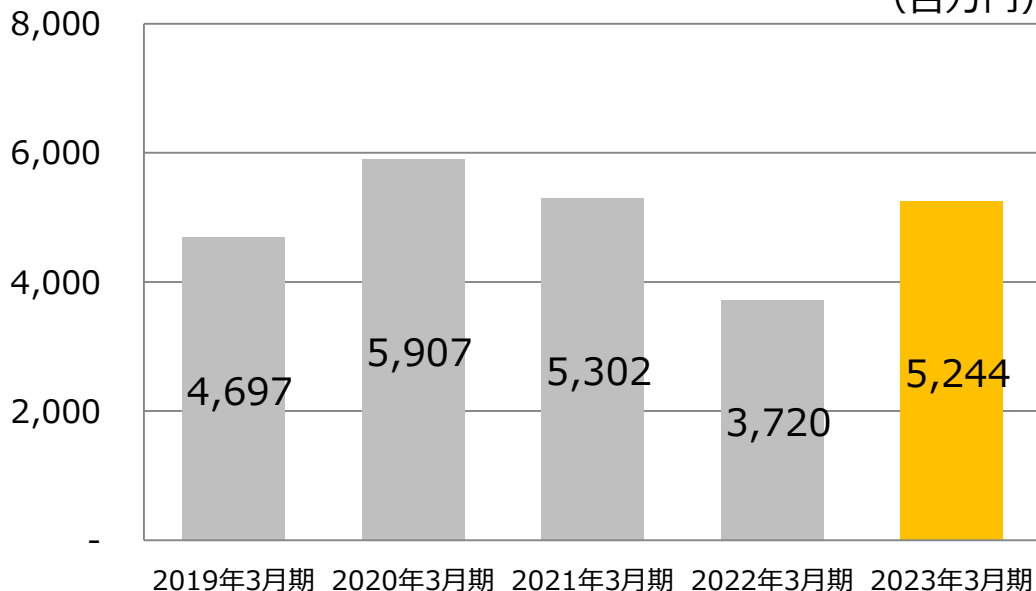
(百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	813	869	+55 (+6.7)	ゴルフ業においては、入場者数の増加とプレミアム会員権の販売に伴い増収増益
セグメント利益	1	19	+17 (+877.9)	ボウリング業においては、健康ボウリング教室の開催等、会員利用者を中心に新型コロナウイルス感染症の影響から回復し増収

設備投資の状況（連結）

設備投資額の推移

(百万円)



主な設備投資

宮島口整備事業

1,244百万円

自動車事業用車両 28両購入

673百万円

5200形グリーンムーバーAPEX 1編成購入

440百万円

広島駅前大橋ルート整備事業

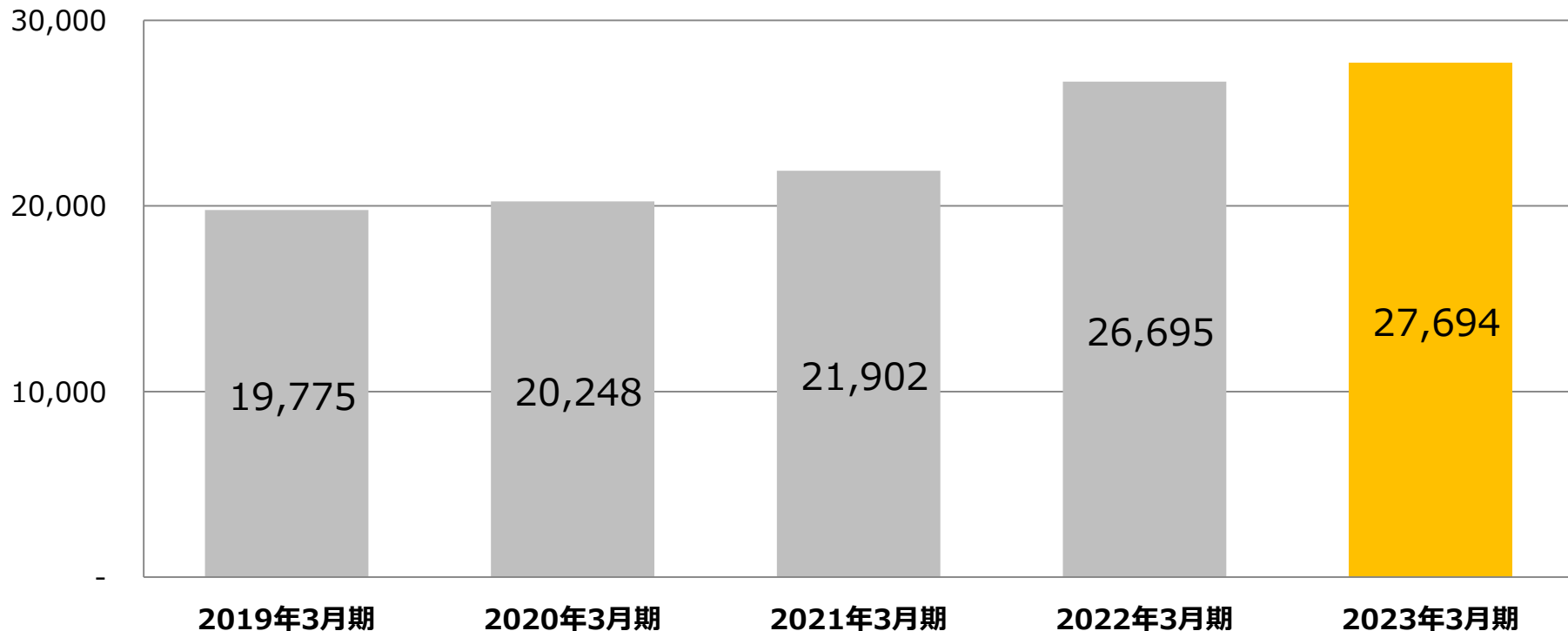
109百万円

不動産賃貸用マンション購入 (広電建設株)

913百万円

有利子負債の状況（連結）

(百万円)



2023年度の主な設備投資予定（連結）

	導入数	金額
新乗車券システム		1,393百万円
自動車事業用車両購入	29両	785百万円
5200形グリーンムーバー-APEX	1編成	520百万円
宮島口整備事業 ※外構整備		495百万円
広島駅前大橋ルート整備事業		32百万円



▲ 5200形グリーンムーバー-APEX



▲ 広島駅前大橋ルート整備事業（2023年4月現在）

2024年3月期 連結通期業績予想

(百万円)

	2023年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	27,450	31,100	+3,649 (+13.3)	コロナ禍における新しい生活様式を踏まえた企業や個人の行動の変化が一定程度定着するものの、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類5類引き下げなどにより、移動需要の回復傾向が続くものと想定
営業利益	△3,212	△1,240	+1,972 (-)	国内外からの観光需要の増加を含む移動需要の回復傾向が見込まれることから、運輸業においては増収となることを見込んでおり、不動産業においても分譲マンションの引渡しによる増収効果を見込んでいる。原油価格の高騰に伴う電動費及び燃料費の増加が予想されるが、営業利益、経常利益は大幅に赤字縮小。一方で、当連結会計年度に計上した特別利益の反動減があり、親会社株主に帰属する当期純利益は減益になると想定。
経常利益	△3,027	△1,270	+1,757 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	943	600	△343 (△36.4)	

連結業績予想の前提条件

【収入の見通し(セグメント別)】

セグメント	収 対 前 年 入 比	備 考
運 輸 業	+11%	国内外からの観光需要の増加を含む移動需要の回復傾向が見込まれることから、増収を想定
流 通 業	+7%	高速道路利用者数の回復を見込む
不 動 産 業	+43%	分譲マンション「ザ・タワーレジデンス広島富士見町」の引渡しにより、増収を想定
建 設 業	+1%	広島市大塚中央土地区画整理事業の工事がほぼ終了し民間工事は減少するものの、広島駅南口広場再整備に伴う官庁工事の進行による増収を想定
レジャー・サービス業	+6%	ゴルフ業、ボウリング業での来場者数の増加や、ジム業での会員数の増加に伴う増収を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542